

平成19年度一般会計・特別会計

安全・安心・ゆとりと豊かさが実感できる町づくりに

総額71億9,145万円を可決

3月定例会

3/6 ~ 3/14

ますます進む緊縮型予算

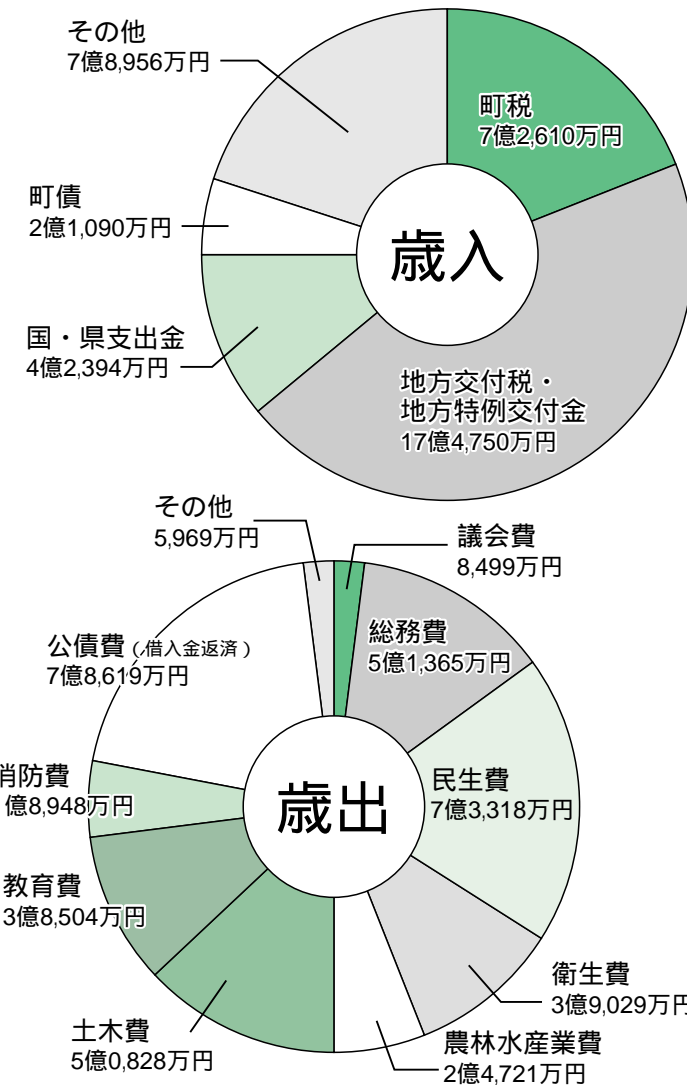
歳入

町一般会計の予算総額は38億9,800万円で、前年度に比較すると1億2,200万円の減(前年度対比3・0%減)となりました。

歳入では、対前年度で比較すると、町税8,428万円、分担金及び負担金537万円、国庫支出金1,239万円とそれぞれ増となっているが、地方譲与税6,350万円、地方特例交付金93

歳出

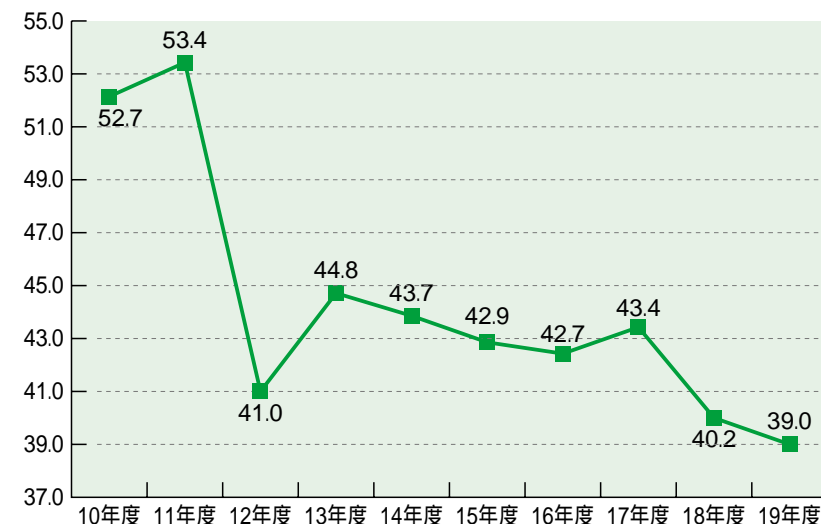
一般会計の歳出は、前年度対比で議会費で1,286万円、民生費が3,927万円、農林水産業費1,624万円、公債費1,523万円とそれぞれ減となります。歳出区分の77・8%を占める区分で歳出を抑えた緊縮型予算となっています。



平成19年度特別会計

会計名	予算額	対前年度	
		増減額	増減率
国民健康保険	88,455	9,833	12.6%
老人保健	103,238	△4,389	△4.1%
次子簡易水道	733	△63	△7.9%
学校給食事業	10,804	△8	△0.1%
農業集落排水事業	20,349	△486	△2.3%
村山北部土地改良事業	10,046	1	0.0%
都市計画事業駅前土地区画整理事業	51,072	8,504	20.0%
介護保険	44,648	△12,692	△22.1%
合計	329,345	750	0.2%

一般会計当初予算額の推移 (単位: 億円)



中学校統合は平成22年開校めざす

町長施政要旨

「新たな大石田を目指した自立計画」に沿って、町民各層の参画を得て時代の要請に的確に対応し、新たな諸課題に最大限の努力を傾注し、町発展の扉を開いていく決意であります。

限られた財源の中で、町民との協力体制を早期に構築し、より計画的、効率的な行政運営と、徹底的な行財政改革を具体的に推進してまいります。そのために、平成19年度当初に、課、室の統合をおこない、スリムで効率的な事務事業の執行を図ります。

次に財政面ですが、歳入財源は大幅に減少してきていることから、引き続き人件費などの義務的経費の圧縮、各事業の事業効果、官民負担のあり方も含め、厳しく精査し、現事業を再点検しつつ、より効果的に進捗してまいります。

(「平成19年度町長施政要旨」より抜粋)